

おうちにいくよ



令和7年度 第1回 介護・医療連携推進会議

- 日時:令和7年8月22日(金) 13:30~14:30
- 会場:株式会社 エール フリースペース
- 主催:株式会社エール

24時間訪問介護看護 ケアステップ エール

(岡山市指定 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業)

yell! 

議事

開会挨拶

定期巡回・随時対応型訪問介護看護について

ワンコインサービスについて

利用の現状について

症例発表

課題について

質疑応答／意見交換

次回日程のご案内(令和8年度 第2回)

(案)令和8年2月28日(金)13:30～14:30



地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。



出典：平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書より

yell!

定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス概要

正式名称は、

定期巡回・随時対応型訪問介護看護



創設の経緯

訪問介護などの在宅サービスが増加しているものの、重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を**24時間支える仕組み**が不足していることに加え、医療ニーズが高い高齢者に対して**医療と介護との連携**が不足しているとの問題がある。

このため、①日中・夜間を通じて、②訪問介護と訪問看護の両方を提供し、③定期巡回と随時の対応を行う定期巡回・随時対応型訪問介護看護を創設。
(2012年4月)

※2018年1月時点での請求事業者数:853事業所



「住み慣れた家で最期まで」を叶えるサービス。

yell. 

定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの利用条件

1 要介護認定者であること

重度化の防止・ADLの向上を基本理念とした、要介護者に向けたサービスです。

2 住所地が岡山市であること

地域密着型サービスであるため、岡山市に住民票がある方がのみが対象となります。岡山市に在住で、住民票が他の市区町村にある場合、**住所地特例の適用**が認められれば、例外的に利用することもできます。

3 訪問介護・夜間対応型訪問介護・訪問看護との併用不可

サービス内容が重複するため、定期巡回サービスと併用することはできません。ただし、**通院等乗降介助のみ、併用可能**です。

yell!



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス内容



定期巡回サービス

訪問介護員が計画書に基づいて1日複数回・短時間の介護サービスを巡回して行うもの。



随時対応サービス

利用者やその家族等から24時間365日緊急時等に連絡を受け、訪問の要否を判断するもの。



随時訪問サービス

随時対応サービスの訪問の要否の判断に基づき、利用者宅を訪問して介護サービスを行うもの。



訪問看護サービス

医師の指示に基づき、看護師等が利用者宅を訪問して看護サービスを行うもの。

適切なアセスメントとマネジメントに基づいて、介護サービスと看護サービスが連携を図りつつ、「短時間の定期訪問」、「随時の対応」といった手段を適宜・適切に組み合わせて、1日複数回、「必要なタイミング」で「必要な量と内容」のケアを一体的に提供するものであり、4つのサービスが提供されます。

yell!



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの特徴

1 ケアプランの協同作成

定期巡回事業所の**計画作成責任者**が、ケアマネジャー、看護師と共にケアプランを作成します。制度上、「いつ、何回行って、何を**するか**」(≡ケアプラン3表)の**裁量権は、定期巡回事業所に持たされています。**



サービス量の適正化を目的とした制度設計

2 2時間ルール・20分ルール適用外

従来のサービスでは不可能とされていた、**2時間以内の再訪問**や、**20分未満のサービス提供**が可能です。



相互関係

3 包括報酬

要介護度に応じた月あたりの定額制です。

※日割りでの利用も可能。



アセスメントの徹底

 ケアマネジャーの視点
(総合アセスメント)

 看護師の視点
(医療アセスメント)

 定期巡回の視点
(頻回なアセスメント)



計画書(第一版)を作成



利用者を様々な視点から立体的に捉えたうえで、定期巡回サービスによる**24時間365日の介入で、断続的なアセスメントとモニタリング**を実施。

日々**変動する利用者のニーズ**に応じ、**迅速で柔軟な対応**を取ることで、ADLの向上や、重度化の防止を図る。

ポジティブアセスメント

yell!

利用の現状について(R7,7月現在)※御南中学校校区での利用 4名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	世帯	看護利用	主な支援内容
1-I・M様	76歳	4	北区今	36回	夫婦	医療	排泄、起床・就寝支援
2-Y・M様	85歳	4	北区今	97回	夫 息子	あり	排泄・経管栄養・内服
3-K・M様	75歳	1	北区東古松	34回	独居	あり	体調確認
4-M・H様	87歳	4	北区谷万成	39回	夫・息子	医療	排泄対応、食事、就寝介助 内服・点眼
5-K・M様	88歳	5	北区下伊福	64回	妻・娘	あり	排泄、保清、水分摂取
6-K・T様	95歳	2	北区伊島町	10回	独居	あり	服薬、安否確認
7-Y・K様	75歳	4	北区清輝橋	93回	独居＋猫	医療	生活全般

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	世帯	看護利用	主な支援内容
8-K・T様	70歳	1	北区足守	74回	独居	あり	内服、安否確認
9-A・D様	86歳	5	北区西崎	87回	夫・娘息子	あり	尿破棄・保清・口腔ケア
10-Y・O様	87歳	2	北区大安寺	31回	妻	あり	安否確認
11-Y・H様	82歳	4	北区川入	19回	娘家族	あり	体調確認、配膳、 トイレ掃除
12-Y・K様	87歳	5	北区尾上	55回	夫	あり	排泄、内服
13-S・F様	92歳	4	北区 鹿田本町	63回	独居	医療	排泄対応、吸引、 口腔ケア、更衣
14-F・O様	82歳	2	北区中仙道	31回	独居	あり	内服、体調確認

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	世帯	看護利用	主な支援内容
15-Y・K様	92歳	1	北区津高	27回	夫婦	医療	安否確認、保清
16-M・Y様	73歳	3	北区今	91回	独居	あり	生活全般
17-T・A様	85歳	3	北区佐山	21回	夫婦	あり	便破棄、安否確認
18-T・O様	90歳	3	北区東花尻	19回	娘家族	あり	体調確認、配膳、 トイレ掃除
19-N・K様	86歳	4	北区上中野	90回	夫・息子二人	あり	排泄、体調確認、保清
20-Y・M様	83歳	4	中区山崎	98回	娘息子家族	あり	排泄、配膳、保清、 生活全般
21-T・K様	92歳	3	中区国富	76回	夫婦	あり	配膳、内服、体調確認 シャワー浴

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	世帯	看護利用	主な支援内容
22-K・K様	92歳	2	中区国富	43回	夫婦	なし	安否確認、生活全般
23-M・W様	78歳	5	中区 門田本町	151回	夫婦	あり	排泄、保清
24-K・H様	79歳	5	中区山崎	146回	独居	あり	体調確認、尿破棄 生活全般
25-M・A様	68歳	3	中区 西中島町	88回	独居	医療	体調確認、 トイレ掃除、
26-M・I様	89歳	5	中区 さい東町	0回	独居	あり	買物、安否確認 生活全般
27-K・H様	86歳	3	中区海吉	56回	独居	あり	体調確認、買物
28-Y・W様	97歳	4	南区福富	80回	娘	なし	排泄、 起床・就寝準備

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	世帯	看護利用	主な支援内容
29-K・K様	81歳	3	南区大福	87回	息子 家族	あり	内服、安否確認
30-M・K様	77歳	5	南区泉田	115回	独居	なし	排泄、配膳、生活全般
31-S・K様	80歳	5	南区高屋	95回	夫 息子	医療	排泄、食事介助、保清 内服、体調確認
32-K・I様	91歳	2	南区平井	70回	独居	あり	体調確認 入浴見守り
33-S・S様	88歳	5	南区南輝	34回	夫婦	医療	排泄、体調確認
34-T・U様	81歳	3	南区新保	7回	夫婦	医療	保清、尿破棄 体調確認
35-A・K様	77歳	4	南区妹尾	46回	夫婦	医療	排泄、 生活全般

[illegible]

利用の現状について(R7, 7月現在)※御南中学校区での利用 4名

- ◆お客様登録数 36名
- ◆平均介護度 3.6
- ◆月定期訪問総回数 2183回
- ◆平均定期訪問回数 60.63回
- ◆新規依頼 0名
- ◆終了者 4名

yell. 

症例発表

軽度知的障害 軽度認知症、廃用症候群

70代 女性 独居 介護度 3

H23年、夫が入院中にひとりでは食事もほとんど摂れず、何もできない状態でごみの中に埋もれて生活しており、生活が破綻していた。大家が見つけ一旦、夫と同じ病院に入院。夫が入退院を繰り返しても生活できるように介護保険を申請し、自宅に戻っても生活維持ができるように介護保険サービスを受けながら生活していた。H30年2月に夫が死亡してからは独居となる。その後も入退院を繰り返されながら、デイサービスや指定の訪問介護を利用しながら自宅で生活されていた。令和7年5月の退院時より、定期巡回が介入となる。その際に、独居の為、介護保険外のサービスも受けていただけるよう自費サービスの【ちょこっとエール】も契約される。主に買い物依頼を受けさせていただいている。



症例発表

尿路感染症、誤嚥性肺炎 90歳 男性 介護度 1

感染性胸部大動脈破裂 86歳 女性 介護度 4

妻が昨年12月に入院、本人、家族の強い希望で今年の6月末に退院し今年7月から定期巡回の介入となり自宅での生活となる。夫と二人の息子と生活。妻は寝たきりなので、パッド交換、保清で1日3回介入していた。夫の体調が悪くなり、受診となりそのまま入院。予後3か月と医師から告げられ、「妻と一緒に居たい」という強い思いがあり8月4日から自宅での生活となる。隣同士の部屋であつたがお互いの存在を感じながら過ごされる。夫への定期巡回の介入は1日5回入らせていただく。

8月9日の日中に静かに息を引き取られた。妻は引き続きケアに入らせていただく。

yell 

課題について

◆人員確保

◆岡山市において定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの事業者が増えない為、訪問エリアが広がる

◆独居、老々世帯により買物支援が増えた

◆医療・介護の連携

yell! 

質疑応答/意見交換会

次回日程のご案内

令和8年2月28日(金) 13:30～14:30

本日は、皆様ご多用にも関わらずお越しくださり心より感謝申し上げます。

yell!

